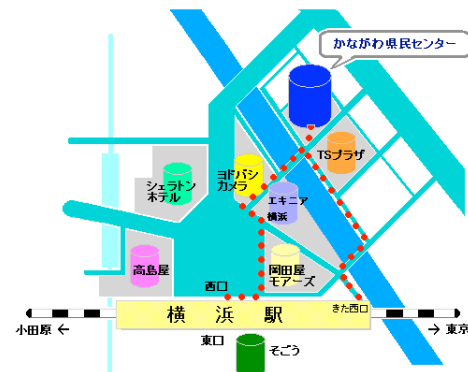


# 侵略戦争に参加した私の体験から、現代を憂う

<市民活動フェア 2014 参加企画> **神奈川証言集会**

日時 **3月9日(日) 13:00 より**

場所 **神奈川県民センター305 (3階)**



## 第1部 13:00 より

講演：**撫順戦犯管理所で何があったのか**

再び「人のあかし」の脚本を書いて考えたこと

講演者： 脚本家 **和田庸子さん**

## 第2部 14:10 より

証言：**侵略戦争に参加した体験から、現代政治を憂う**

証言者：山西省での戦争体験者 **松本栄好さん (91才)**

**\*午後から参加される方は資料代500円お願いします。**

\*午前11時より、中帰連（中国帰還者連絡会）の活動に関する貴重なDVD映像を上映しています。お立ち寄りください。



あの侵略戦争の戦地での体験をナマで語れる人は私たちの身の回りにほとんどおられなくなりました。上記の松本さんこそは、その**ナマの体験**を語っていただける数少ない貴重な方です。**第2部で証言**をお願いしています。

私たち撫順の奇蹟を受け継ぐ会神奈川支部が、発足以来活動の中心であった証言活動も、元中帰連の方々の高齢化には勝てなくなりました。また多くの方が亡くなられました。

松本さんは、中国山西省でのちに太原戦犯管理所を体験された中帰連の方たちと同じ地域で、同じ部隊で戦争を体験されています。松本さんは衛生兵として「慰安婦」の衛生管理の任務も行ってきたことから、実際の「慰安婦」の実態についてもお話していただきます。どうぞ皆さん、ご参加ください。

順序が逆になりましたが**第1部**は、2012年暮れの公演で評判を呼んだ芝居「人のあかし」の脚本を書かれた和田庸子さんをお呼びしました。和田さんは憲兵の地位をかさに中国人への拷問、惨殺など悪行のかぎりをつくし、その後における撫順戦犯管理所で身を切るような体験の中から「鬼から人間に」立ち戻った土屋芳雄さん（山形出身）の生涯を通してあの戦争の本質の迫る迫真の脚本を書かれました。和田さん撫順のできごとを脚本にされて、いま何を伝えようとしておられるのか、お話しして頂きます。どうぞ、第1部からご参加ください。 \*高齢の講演者の体調の都合により企画を変更する場合があります。



主催**撫順の奇蹟を受け継ぐ会神奈川支部** 連絡先 松山英司 TEL/FAX046-871-4263

## <第1部 講演者>和田庸子さん

和田さんが前回（2012年11月）公演の「人のあかし」の脚本を書くにあたって考えられたことについて、以下紹介します。

脚本を書くにあたって、中帰連の方たちの体験の重みをどう受けとめるべきかを悩み、考えたそうです。昨年、3月11日に発生した大震災と原発事故以降の動きのなかで、

「この社会がどうなってしまったのか。安全神話の崩壊が誰の目にも明らかにもかかわらず、原発を推進する大きな力がじっさいに動きはじめている。社会のあり方がおかしくなってしまったのではないか。そもそもその原因は、大震災と原発事故だけが原因ではないだろう。歴史のどこかでこの国は道を踏み間違えてきたからではないか」と考えたのです。

そして、その核心はあの中国や東南アジアへの侵略戦争の事実、正面から向きあつてこなかったことが大きな原因ではなからうか、結果このような考えに行きついた。だとすれば、「撫順戦犯管理所で何があったのか」という事実を多くの人に知ってもらうことが今ほど大切なときはない、と。このような考えに至ったといいます。

以来和田さんは中帰連関連の大量の書籍や資料を読みこんで、猛烈な勉強をはじめました。そして土屋芳雄憲兵の生き方をモデルにすることが最もふさわしいと判断されたのです。劇団の「人のあかし」制作ニュースに書かれている和田さんの文章の一部を、以下紹介します。

「撫順の奇蹟とは何か？ 戦争責任とは何か？ 土屋さんの半生を賭けた問いかけは、3・11大震災後の私たちの生き方に響いてくる」

## <第2部 証言者>松本栄好(まさよし)さん略歴

- |            |  |
|------------|--|
| 1922年3月30日 | 福岡県柳川市にて生まれる。<br>尋常高等小学校卒業後、転々と職業を変えながら、大牟田市の三井鉱山株式会社富浦鉱に落ち着く。<br>この間、夜学・独学で専門学校入学検定資格を得る。 |
| 1943年4月10日 | 衛生兵として久留米48連隊に入隊、3ヶ月後から12月まで久留米陸軍病院にて衛生兵の教育を受ける。   |
| 1944年1月    | 福岡で編成された独立旅団固兵団に転属、山西省盂県へ  |
| 1946年3月    | 帰国後、職場に復帰。   |
| 1947年4月    | 西南学院神学科に入学。卒業後牧師となり、現在に至る。<br>但し、現在は引退。  |

\* 現在は、特に靖国神社問題、「慰安婦」問題、その他に入権問題に取り組んでおられます。

松本さんには4年前にも証言集会に来ていただきました。そのときには「私のターゲットは天皇制にあり！」と、はっきりと核心をつくお話をされました。天皇制を支える教育勅語で育てられ、軍人勅諭で天皇のために命をささげるよう教育された経験を話されました。

昨年暮れの安倍内閣による特定秘密法の強行採決、靖国参拝などの動きや、集团的自衛権行使や憲法改悪についても松本さんの体験から厳しい指摘があることでしょう。侵略戦争の実体験にもとづいてお話のできる方はほとんどおられなくなりました。

貴重な機会です。どうぞご参加ください。